

上宮寺通信

第七十一号

源氏供養

「うそつきは泥棒の始まり」といわれるように、多くの人は「うそはいけない」としつつやられてきました。仏教でも「妄語」といわれ、十悪のひとつに数えられています。そして十悪の罪を犯す者は地獄に落ちるとまでいわれているのです。

現代では考えられないことですが、平安時代末期から鎌倉時代にかけて、紫式部の書いた「源氏物語」は想像から作られた「うそ」の物語で、しかも煩惱で人々の心をまどわせるとんでもない作品だという評価がされていたといわれています。そして紫式部はその罪のために地獄に落ち成仏できない、とも。

そんな紫式部を救済する「源氏供養」という話があります。その話は「能」として現代でも演じられています。

聖覚法印という僧侶が石山寺(石山観音)を訪れたときのこと。背後から女性の声が聞こえました。

「私がかつてこの寺に籠って『源氏物語』を書きあげました。しかし物語の供養をしていなかったために成仏できずにいます。どうか私をお救いください」。

驚いた聖覚法印は「そなたは紫式部なのか」と声の主に尋ねます。しかし返事はありません。次の日、望み通りに聖覚法印は「源氏物語」と紫式部の弔いを行います。すると紫式部と思

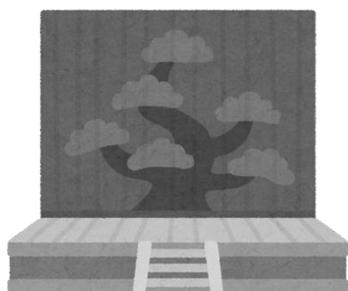
われる女性があらわれ、弔いに感謝をして極楽往生を願う舞いをして消えていきました。

大まかなあらすじとしてはこのような物語なのですが、この物語を通して聖覚法印は「源氏物語」も紫式部も私たちを惑わすものではなく、大切なものであると伝えます。それは「源氏物語」は人々に「この世のはかなさ」を説いているのであり、その「源氏物語」を書いた紫式部は世の無常を教え諭す観音様の生まれ変わりであると評価するのです。

この話に出てくる聖覚法印は天台宗(比叡山)の僧であり、親鸞聖人とも親交があった方でした。また法然上人にも帰依さ

れ、比叡山での修行では道が開けないと悩んだ親鸞聖人に法然上人のもとへ行くように勧めた方でもありました。非常に心優しい僧であったから紫式部が救われる物語にも登場したのでしよう。

現代では小説家をうそつきよばわりする人はいないですが、時代が変われば見方も様々であることが教えられます。



◆行事案内

お盆(盂蘭盆会) 法要

8月13日(火)・14日(水)

午前9時〜午後3時

場所：上宮寺本堂

※(都合のつく時間)にお参りください。

◆話題あれこれ

○お盆(盂蘭盆会) 法要を8月13・14日の二日間行います。時間は両日とも午前9時から午後3時までです。一軒ごとに読経するのではなく、同時間に集まった皆様と一緒に読経する総経でおつとめしますのをご了承ください。

○お盆の法要では、法名を讀み上げさせていただきます。専用の用紙にご記入いただきますので、ご自宅の位牌等で確認してメモしてきてください。

○時間によっては駐車場も満車になる場合がございます。近隣の方のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。

○今年の夏は猛暑との予報が出ています。本堂のエアコンを老朽化のため新しくさせて頂きました。最近のエアコンは省エネで電気代もあまりかからないうこと。電気代も高くなつてたいへんですからね。

○お盆にお墓に行かれる方も多いと思います。八事墓地は8月10〜15日の間、交通規制がありますのをご注意ください。

○先月号でもお知らせしたように上宮寺のホームページを新しくしました。スマホでも見ることがができます。公式LINEとともによろしく願います。

【雑感】

北海道のエスコンフィールドで行われた交流戦、ドラゴンズとファイターズの一戦を現地で見戦してきました。昨年できた新しい球場は「すばらしい」の一言。「きつねダンス」をはじめとしたイニング間の演出も最高でした。試合は投打がかみ合いドラゴンズの勝利。名古屋からはるばる行った甲斐がありました。しかし、この一戦は勝ったのですが、交流戦が終わってみればセリーグ最下位に転落。春先の勢いはどこにいったのやら…。なんとか巻き返してほしいものです。(住職記)

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金二丁目十九番十五号

☎052-871-0547



ホームページ



公式LINE